

<感染状況について>

- ・ 新規感染者数は、過去最多の水準が続いており、引き続き最大限の警戒が必要な状況。特に、北海道や首都圏、関西圏、中部圏を中心に連日多数の新規感染者数の発生が続いている。
実効再生産数：全国的には1を超える水準が続いている(11月16日時点)。北海道、東京、愛知などで1週間平均で1を超える水準となっている(11月17日時点)。
- ・ 入院者数、重症者数の増加が続いており、医療提供体制及び公衆衛生体制への負荷が増大・継続している。また、死亡者数も増加している。重症者数は、新規感染者の動きから遅れる傾向があり、新規感染者の増加傾向が鈍化しても重症者数の増加がしばらく続き、医療提供体制に重大な影響が生じるおそれがある。現に、一部地域では入院調整に困難をきたす事例もあり、予定された手術や救急の受入等の制限、病床を確保するための転院、診療科の全く異なる医師が新型コロナウイルスの診療をせざるを得なくなるような事例も見られている。病床や人員の増加も簡単には見込めない中で、各地で新型コロナの診療と通常の医療との両立が困難になり始めている。
- ・ 感染者の検知が難しい、見えにくいクラスターが感染拡大の一因となっていることが考えられる。20-50才台の社会活動が活発な世代で移動歴のある人による2次感染がその他の世代と比べ多くなっており、こうした世代では感染しても無症状あるいは軽症のことが多いため、本人は意図しないまま感染拡大につながっている可能性がある。
- ・ 現在の感染拡大の要因は、基本的な感染予防対策がしっかり行われていないことや、そうした中での人の移動の増加、気温の低下による影響に加えて、人口密度が考えられる。

【感染拡大地域の動向】

- ①北海道 札幌市近郊を含め、道内全体でも感染が継続。新規感染者数はわずかに減少が見られる。福祉施設や医療機関で大規模なクラスターが継続。また、患者の継続的な発生や院内感染により、札幌市を中心に医療体制が厳しい状況。65歳以上の高齢者も増加。旭川市でも院内感染が継続し、入院調整が困難をきたす例が発生するなど、厳しい状況が続いている。
- ②首都圏 東京都内全域に感染が継続。感染経路不明割合は約6割。首都圏全体でも、埼玉、神奈川、千葉でも同様に感染が継続しており、医療機関、福祉施設、接待を伴う飲食店等の様々な施設でクラスターが発生し、医療体制が厳しい状況。感染経路不明割合は4～5割程度と上昇傾向にある。また、関東圏では、茨城、群馬でも、感染が拡大。
- ③関西圏 大阪では大阪市を中心に感染が継続。医療機関や高齢者施設等でのクラスターが発生。感染経路不明割合は約6割となり、重症者数の増加に伴い、医療体制の厳しさが増大。兵庫では、高齢者施設や大学等でクラスターが発生。医療体制が厳しい状況。
- ④中部圏 愛知県内全域に感染が拡大。感染経路不明割合は約5割。名古屋市で、飲食店等で感染者が増加し、保健センターの負荷が大きくなっており、医療機関での対応も厳しさが増大。また、静岡でも、接待を伴う飲食店等でクラスターが発生し、感染が拡大。岐阜、三重でも感染が拡大。
- ⑤沖縄県 接待を伴う飲食店などでクラスターが発生し、感染が拡大。感染経路不明割合は約5割。医療体制が厳しくなりつつある。

<今後の対応について>

- 感染の急速な拡大・継続により、医療提供体制及び公衆衛生体制への負荷が増大しており、新型コロナウイルス感染症対策を含めた公衆衛生体制や医療提供体制の崩壊を防ぐためにも、可及的速やかに減少方向に向かわせ、その状況を継続させていく必要がある。
- 11月20日及び25日の分科会から政府への提言を受け、11月21日及び27日の政府対策本部において、酒類の提供を行う飲食店の営業時間短縮要請とそれに伴う支援、GoToトラベル事業やGoToイート事業の見直し、病床の確保や必要性の高い者への入院の優先、保健所の支援、重症者の発生を抑えるための医療施設や高齢者施設等における検査の推進等の方針が示された。
- 感染が大きく拡大・継続している地域では、国は積極的に地域の状況を把握し、自治体との緊密な連携体制の下、状況の改善のために必要な対策を迅速に講じるべきである。
特にこうした地域では、医療資源を重症化するリスクのある者等に重点化していくために、医師が入院の必要がないと判断した無症状病原体保有者や軽症者については高齢者も含めて、宿泊療養（適切な場合には自宅療養）とすることが必要であり、国は具体的な調整方法の共有などを進めるべきである。また、自治体のニーズに応じて、自治体間の入院調整支援、医療体制が逼迫している地域への医療スタッフ派遣、特に重症者が多くなる地域に対して関係学会と連携した専門医派遣等の支援を引き続き行う。
- 一方、これまで大きな感染が見られなかった地域でも感染の発生が見られており、特に比較的医療提供体制が弱い地域ではその体制が急速に悪化し、感染が急拡大する可能性がある。このため、現時点では大きな感染が見られない地域でも、急速な感染拡大に備えて宿泊療養施設を含め医療提供体制の準備・確保等を直ちに進める必要がある。
- また、20-50才台の社会活動が活発な世代で移動歴のある人による2次感染がその他の世代と比べ多くなっており、特に若年層や働き盛りの世代などに対し様々なチャネルを活用することで、移動や飲食の場面も含むマスクの徹底など実際の行動変容につなげることが必要。
- また、欧米やアジアでの流行も続いており、検疫での陽性者も継続的に発生している。海外からの入国に関しては、検疫での対応や自治体への必要な情報の共有、発症時の受診方法等必要な行動について、入国する方の特性に応じた情報提供、自治体や医療機関への支援等の対応が必要である。
- 11月20日及び25日の分科会から政府への提言を踏まえた対策を着実に実行し、感染を抑制し、医療提供体制等を維持していくため、国も自治体も市民も事業者も一丸となって、こうした取組を引き続き、進めていく必要がある。

直近の感染状況等

○新規感染者数の動向(対人口10万人(人))

- ・新規感染者数は、伸びに鈍化が見られるものの、過去最多の水準となっている。

	11/12～11/18			11/19～11/25			11/26～12/2		
全国	8.95人	(11,292人)	↑	11.25人	(14,190人)	↑	12.37人	(15,601人)	↑
東京	16.85人	(2,345人)	↑	20.74人	(2,887人)	↑	23.08人	(3,213人)	↑
神奈川	10.59人	(974人)	↑	11.59人	(1,066人)	↑	14.08人	(1,295人)	↑
愛知	11.75人	(887人)	↑	15.33人	(1,158人)	↑	17.58人	(1,328人)	↑
大阪	18.86人	(1,661人)	↑	27.49人	(2,422人)	↑	29.06人	(2,560人)	↑
北海道	29.12人	(1,529人)	↑	31.49人	(1,653人)	↑	28.29人	(1,485人)	↓
福岡	1.80人	(92人)	↑	3.35人	(171人)	↑	6.11人	(312人)	↑
沖縄	16.17人	(235人)	↑	15.55人	(226人)	↓	23.61人	(343人)	↑

○検査体制の動向(検査数、陽性者割合)

- ・直近の検査件数に対する陽性者の割合は6.4%であり、上昇している。
※ 過去最高は緊急事態宣言時(4/6～4/12)の8.8%。7,8月の感染者増加時では、7/27～8/2に6.7%であった。

	11/9～11/15		11/16～11/22		11/23～11/29	
全国	182,720件	↑ 5.5% ↑	235,426件	↑ 6.1% ↑	225,194件	↓ 6.4% ↑
東京	45,644件	↑ 4.7% ↑	53,648件	↑ 5.5% ↑	49,873件	↓ 5.9% ↑
神奈川	15,998件	↑ 5.1% ↑	20,886件	↑ 5.7% ↑	24,204件	↑ 4.7% ↓
愛知	8,851件	↑ 9.4% ↑	11,564件	↑ 9.7% ↑	11,500件	↓ 10.3% ↑
大阪	16,483件	↑ 9.7% ↑	24,930件	↑ 8.9% ↓	23,115件	↓ 10.2% ↑
北海道	8,449件	↑ 17.4% ↑	14,587件	↑ 11.4% ↓	7,691件	↓ 20.2% ↑
福岡	7,057件	↑ 1.4% ↑	8,075件	↑ 2.0% ↑	8,901件	↑ 2.9% ↑
沖縄	3,756件	↑ 5.9% ↑	3,877件	↑ 6.7% ↑	3,477件	↓ 8.5% ↑

○入院患者数の動向(入院者数(対受入確保病床数))

- ・入院患者数は増加が続いている。受入確保病床に対する割合も上昇しており、一部地域では高水準となっている。

	11/11			11/18			11/25		
全国	4,484人	(16.6%)	↑	5,951人	(22.1%)	↑	7,826人	(28.9%)	↑
東京	1,070人	(26.8%)	↑	1,312人	(32.8%)	↑	1,611人	(40.3%)	↑
神奈川	329人	(17.0%)	↑	410人	(21.1%)	↑	434人	(22.4%)	↑
愛知	200人	(23.3%)	↑	286人	(33.3%)	↑	372人	(43.3%)	↑
大阪	429人	(30.8%)	↑	571人	(40.6%)	↑	767人	(54.6%)	↑
北海道	434人	(24.0%)	↑	693人	(38.3%)	↑	845人	(46.7%)	↑
福岡	53人	(9.6%)	↑	47人	(8.5%)	↓	80人	(14.5%)	↑
沖縄	155人	(35.7%)	↓	153人	(35.3%)	↓	180人	(41.6%)	↑

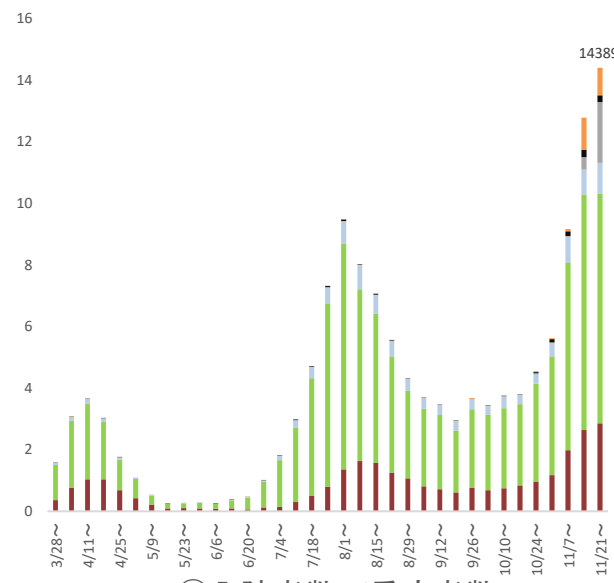
○重症者数の動向(入院者数(対受入確保病床数))

- ・入院患者数同様、増加が続いている。受入確保病床に対する割合も上昇が続き、一部地域では高水準となっている。

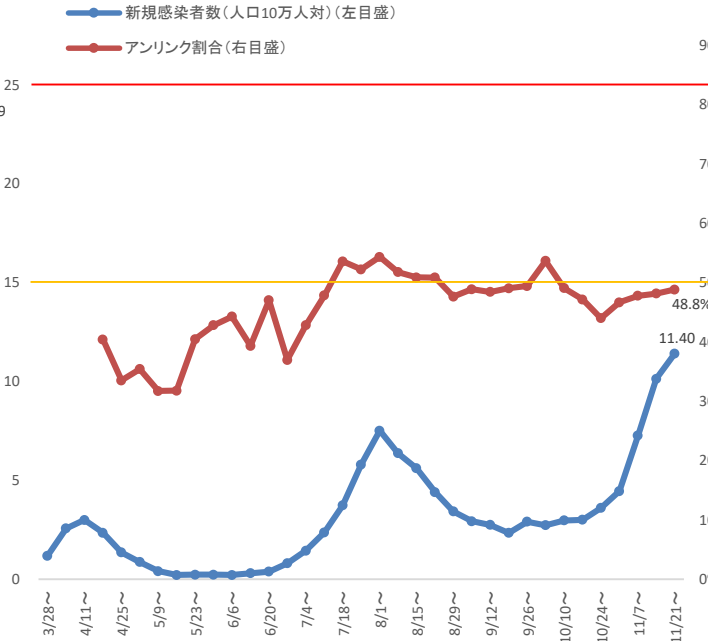
	11/11			11/18			11/25		
全国	388人	(11.2%)	↑	483人	(13.9%)	↑	682人	(19.6%)	↑
東京	154人	(30.8%)	↑	187人	(37.4%)	↑	250人	(50.0%)	↑
神奈川	23人	(11.5%)	↓	35人	(17.5%)	↑	44人	(22.0%)	↑
愛知	15人	(21.4%)	↑	15人	(21.4%)	→	16人	(22.9%)	↑
大阪	91人	(25.6%)	↑	103人	(28.1%)	↑	181人	(49.5%)	↑
北海道	11人	(6.0%)	↑	20人	(11.0%)	↑	19人	(10.4%)	↓
福岡	4人	(4.4%)	→	3人	(3.3%)	↓	3人	(3.3%)	→
沖縄	14人	(26.4%)	↓	14人	(26.4%)	→	21人	(39.6%)	↑

※ 「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。
重症者数については、8月14日公表分以前とは対象者の基準が異なる。↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

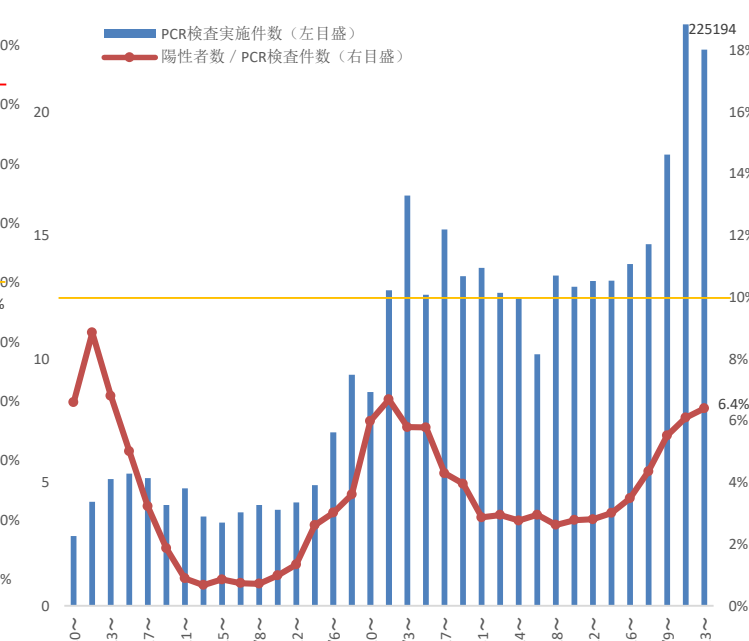
①新規感染者報告数



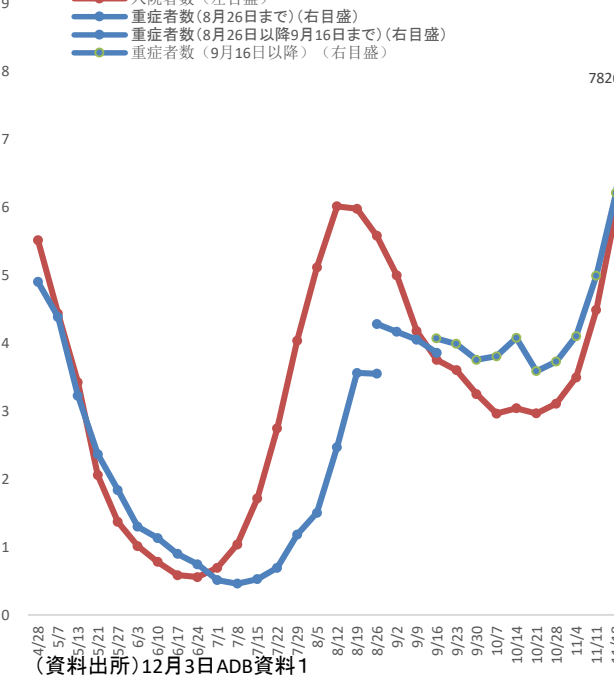
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



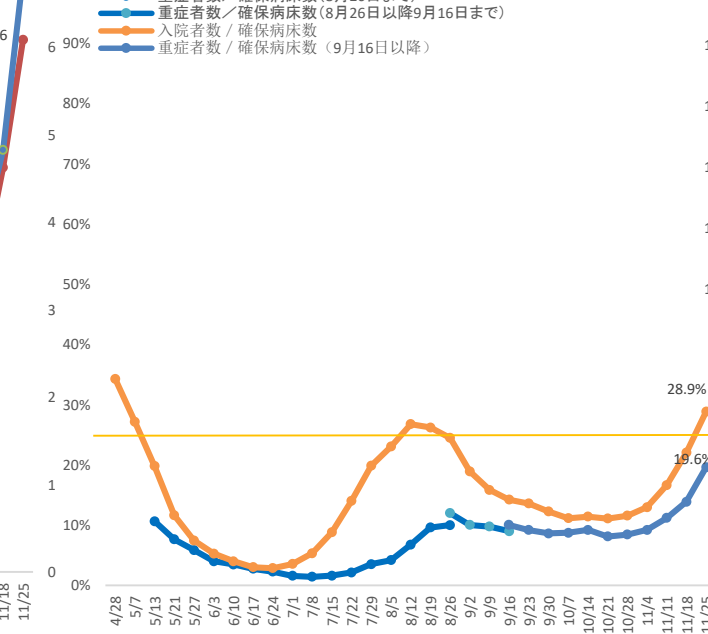
③検査状況



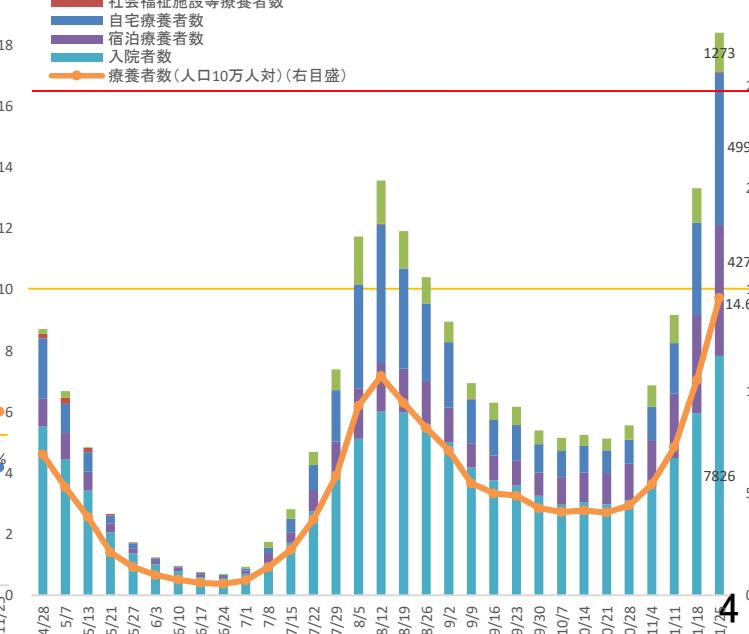
④入院者数／重症者数



⑤病床占有率

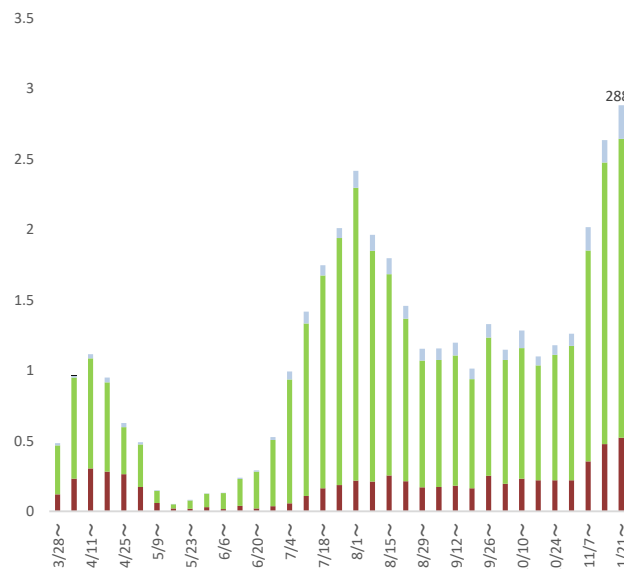


⑥療養者数

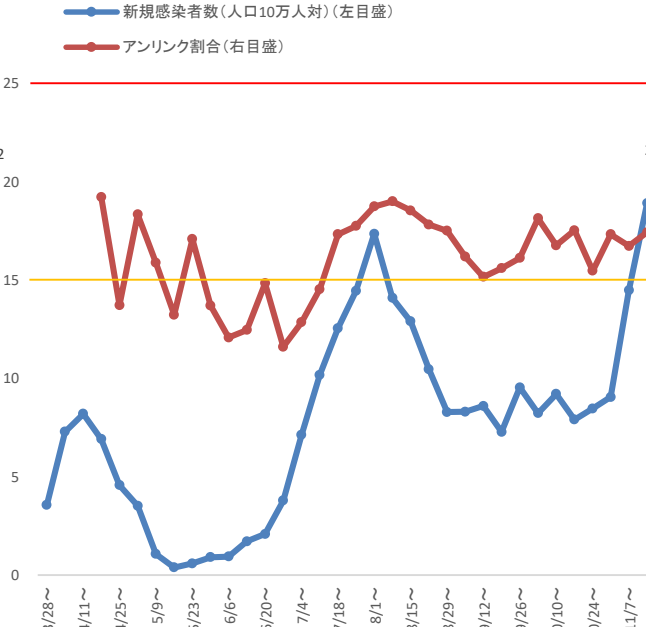


(資料出所)12月3日ADB資料1

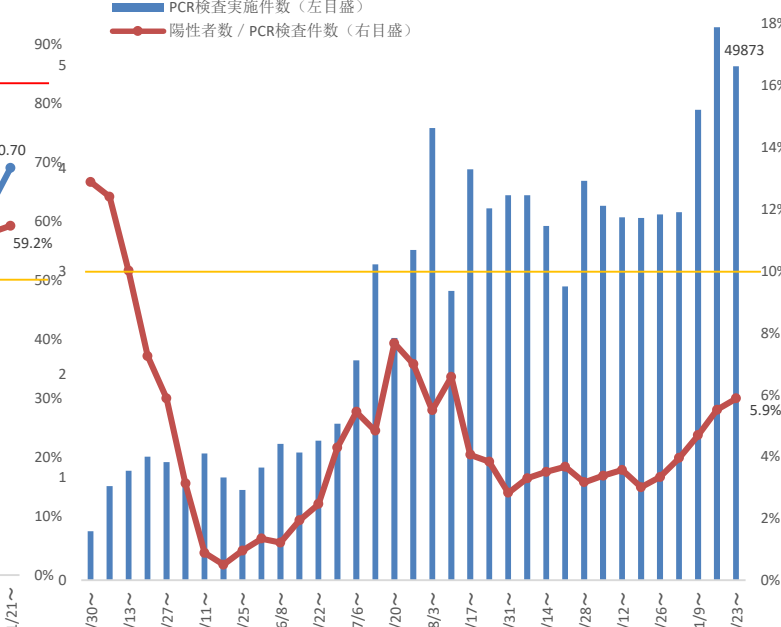
①新規感染者報告数



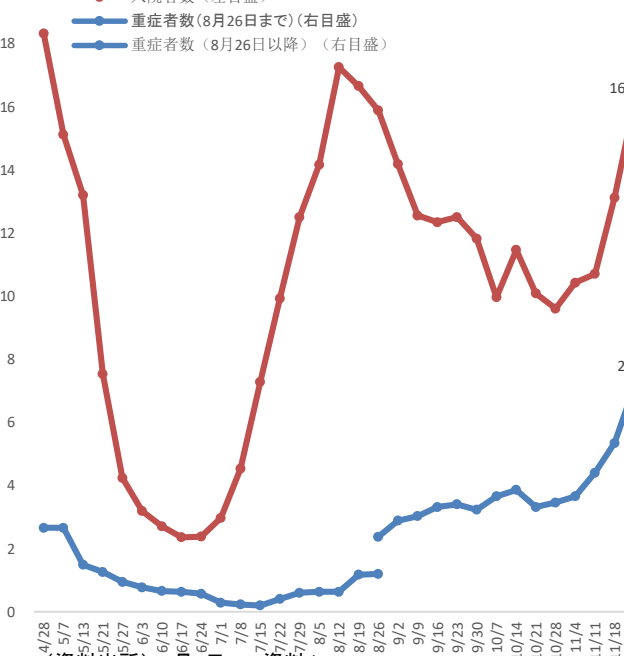
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



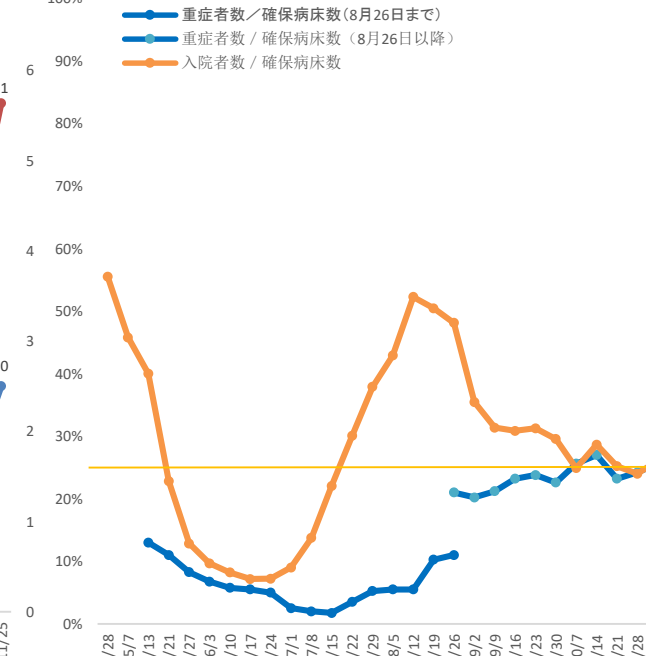
③検査状況



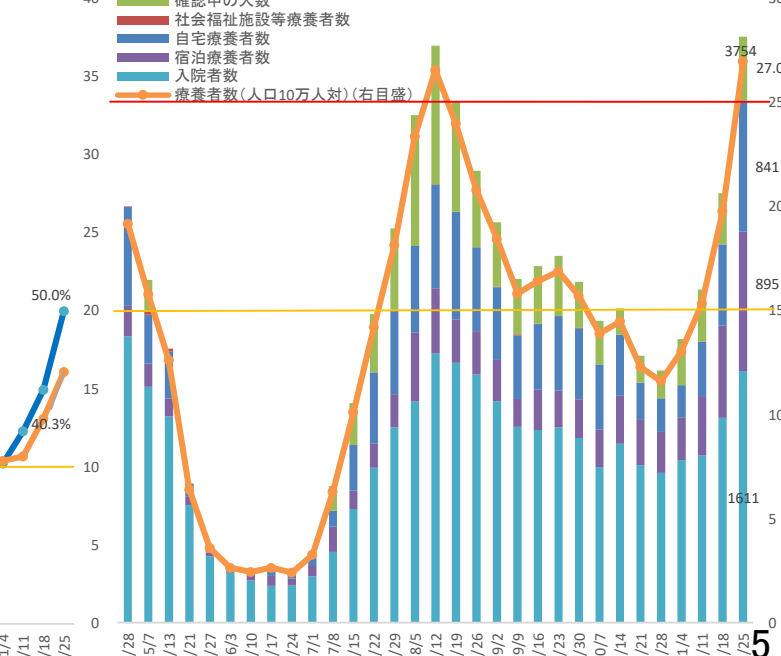
④入院者数／重症者数



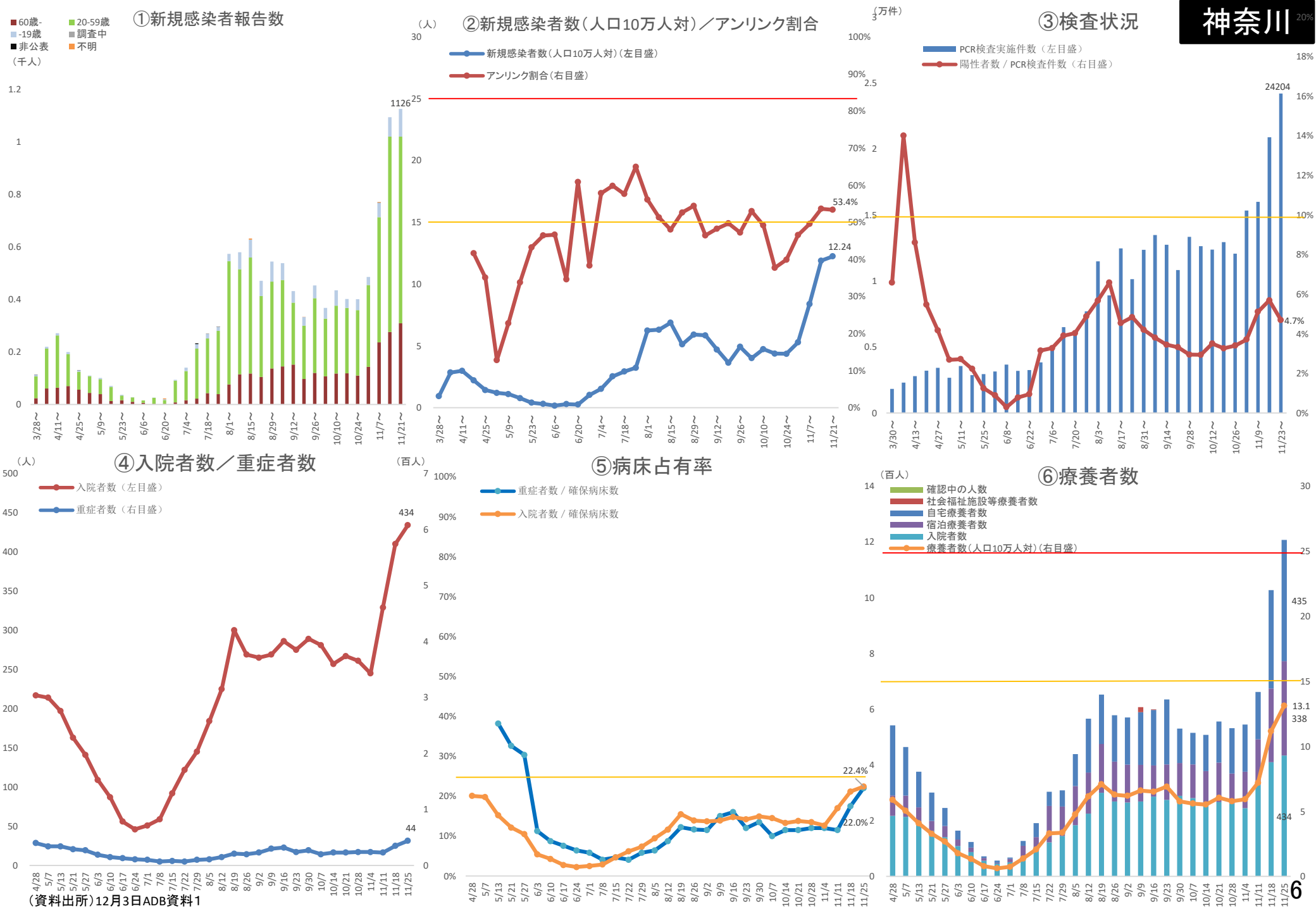
⑤病床占有率



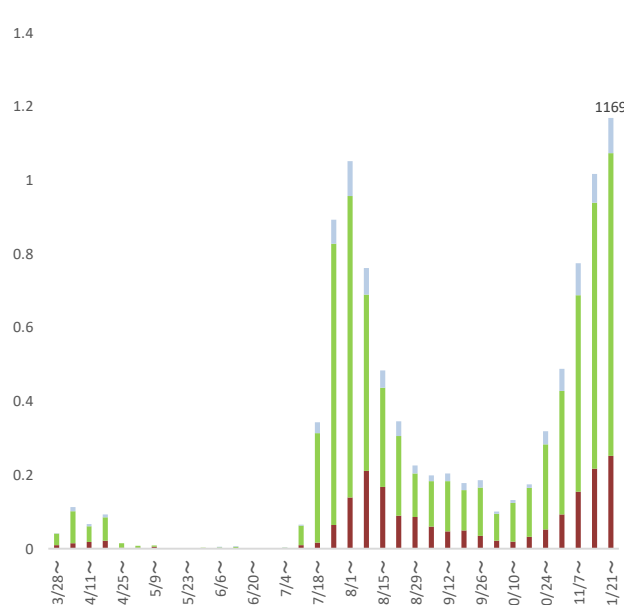
⑥療養者数



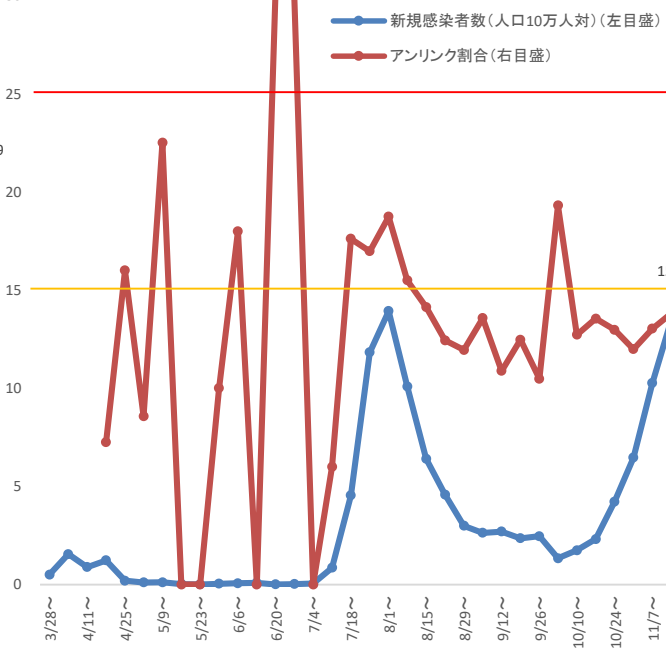
(資料出所) 12月3日ADB資料1



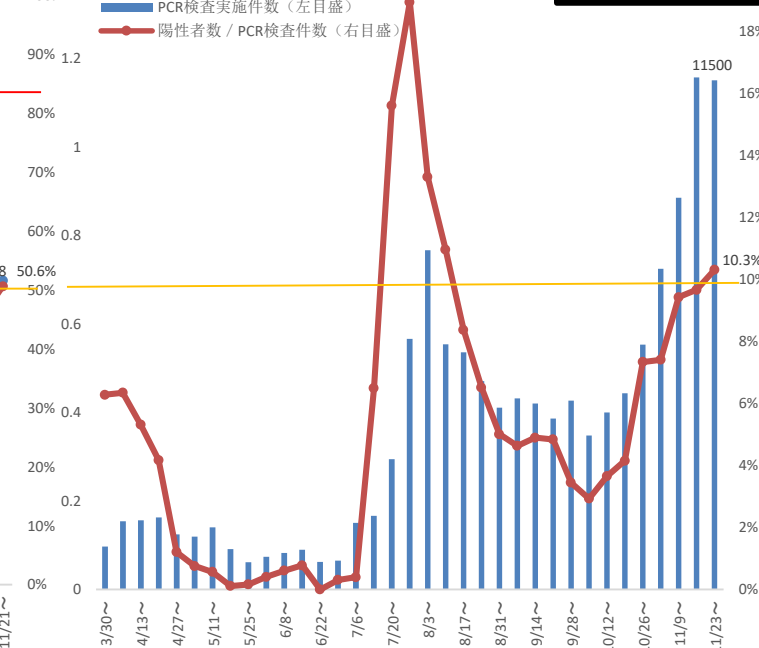
①新規感染者報告数



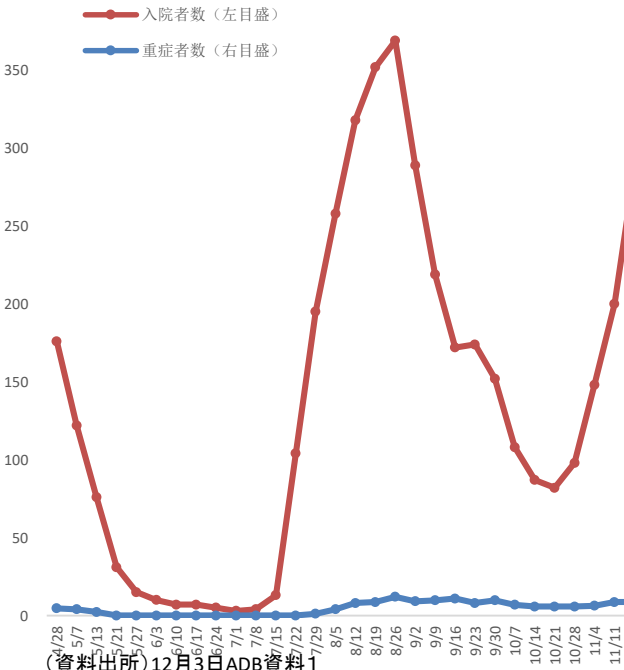
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



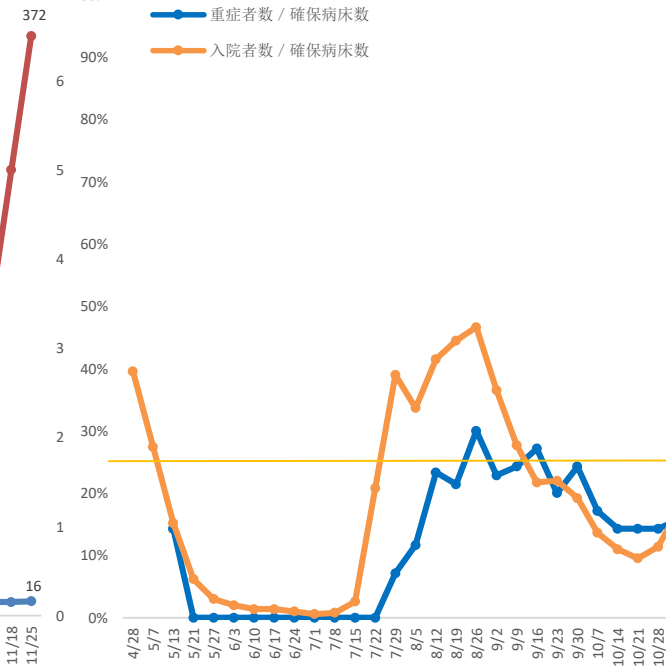
③検査状況



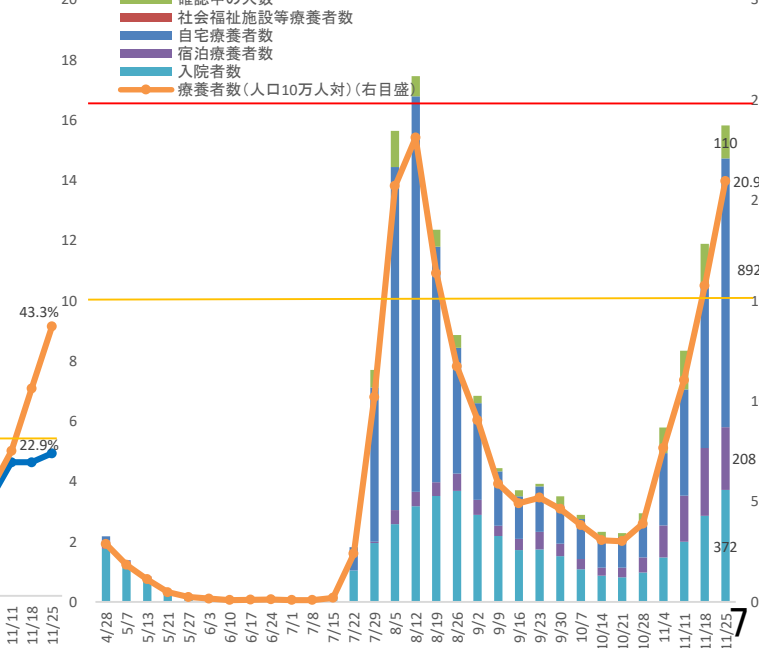
④入院者数／重症者数

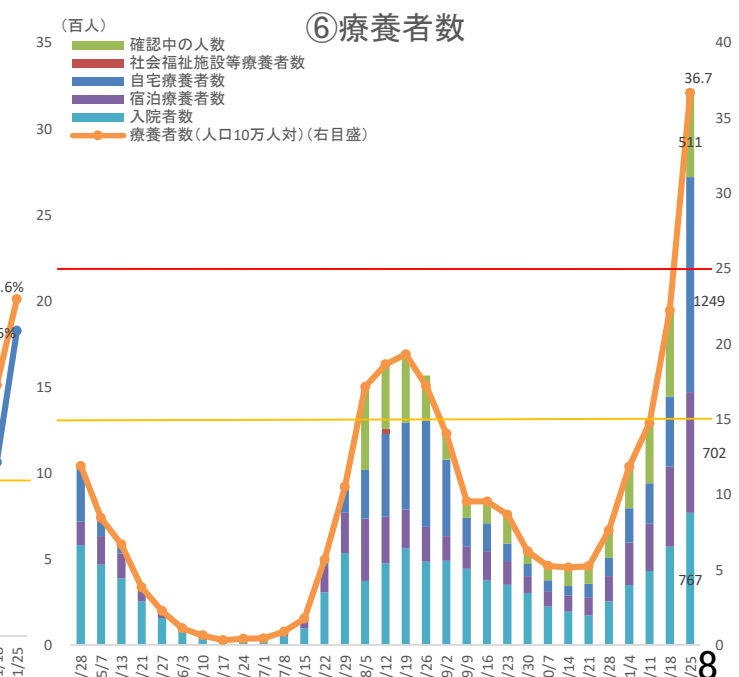
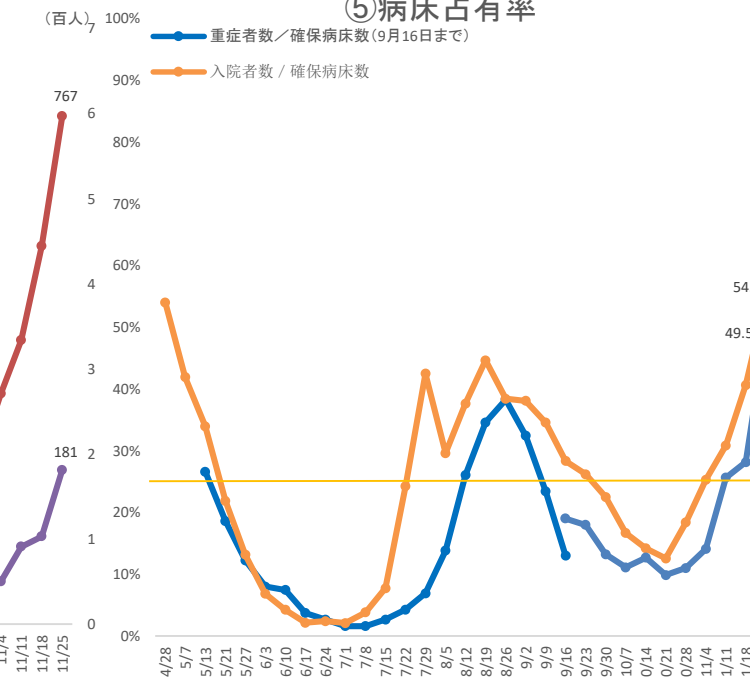
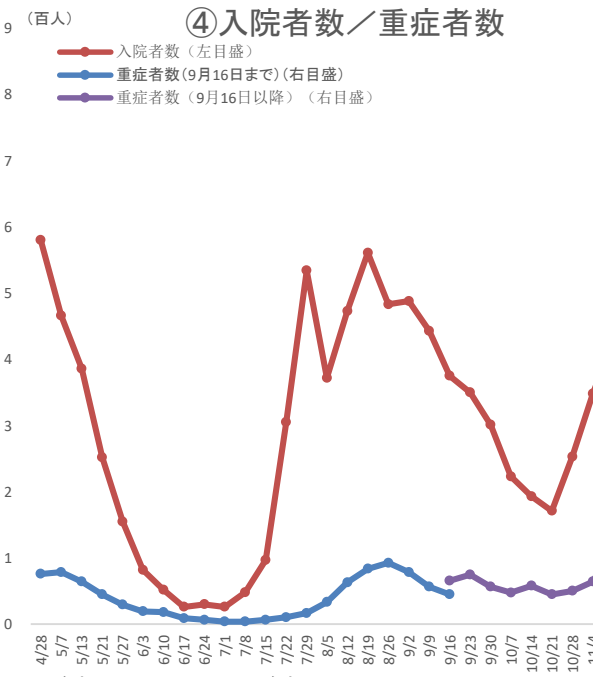
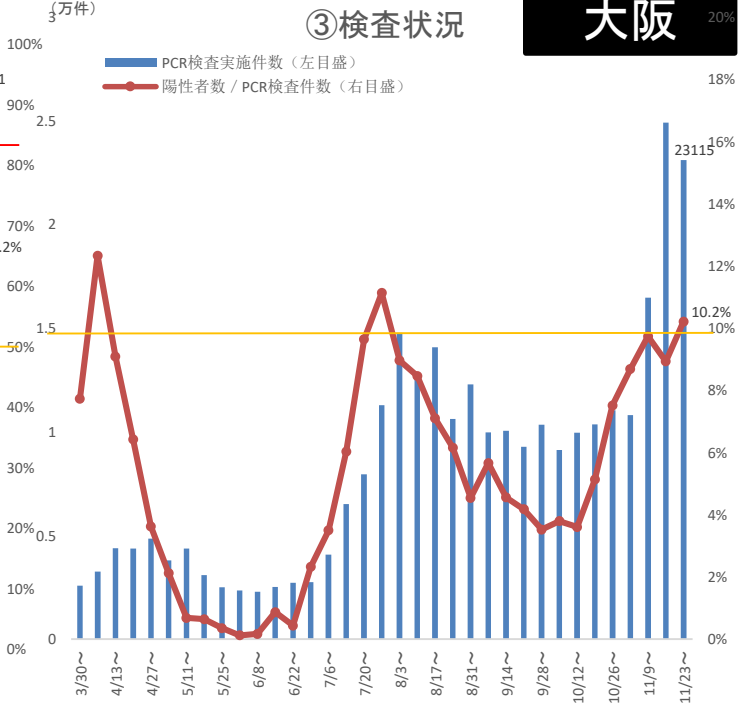
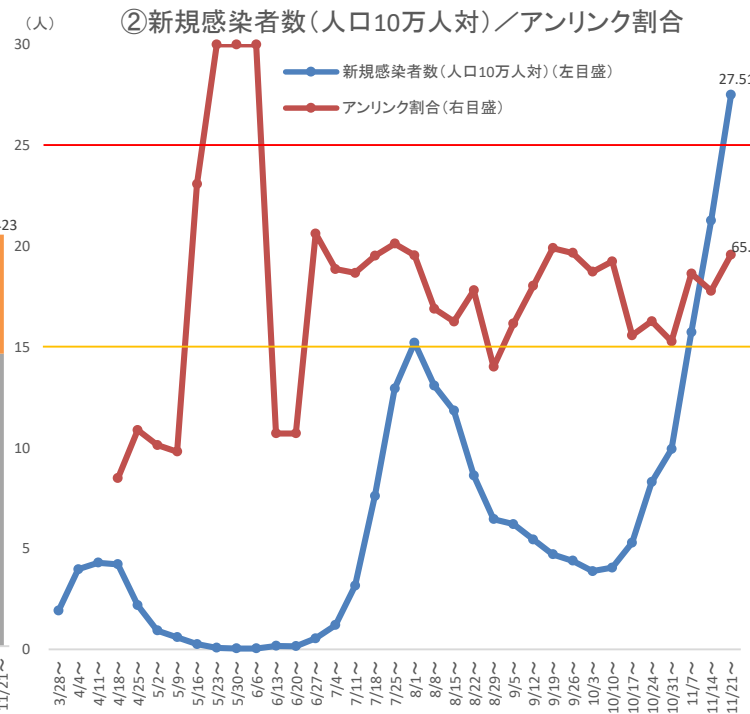
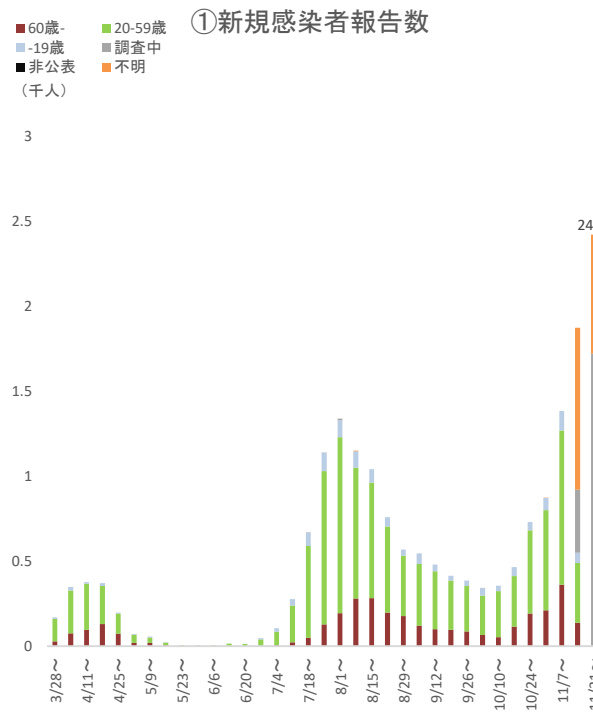


⑤病床占有率

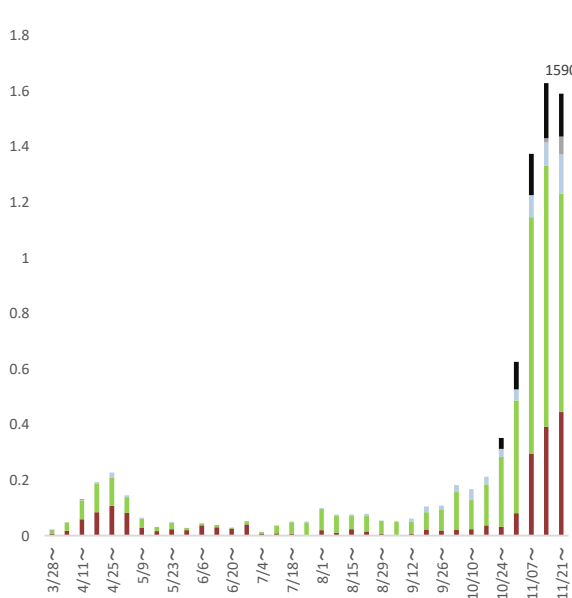


⑥療養者数

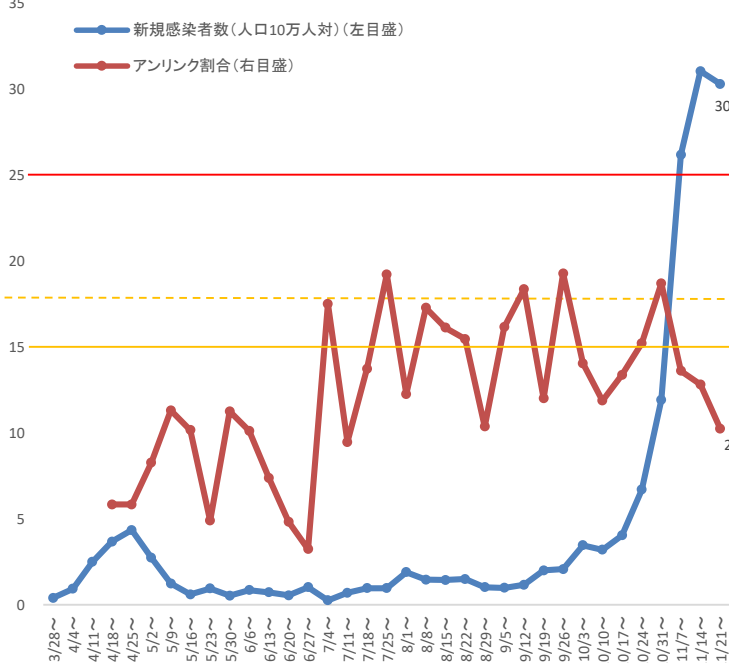




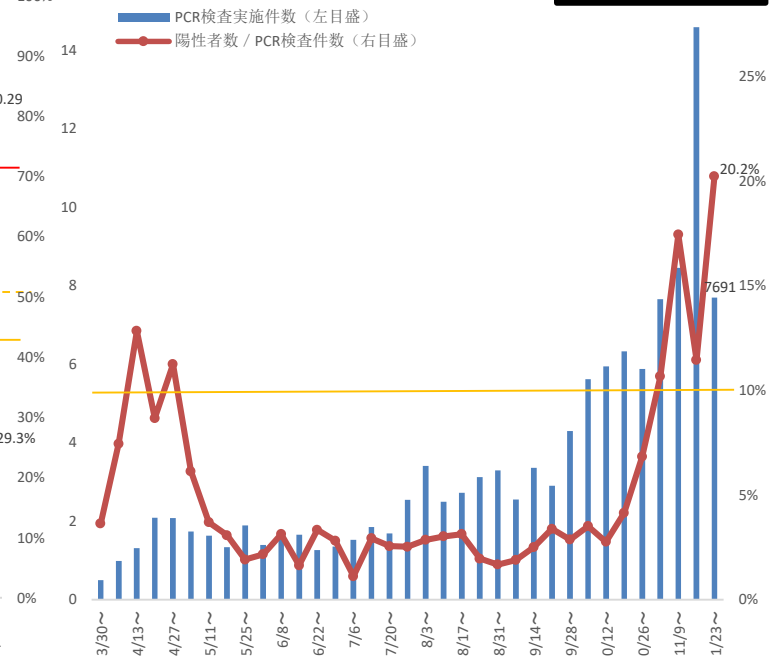
①新規感染者報告数



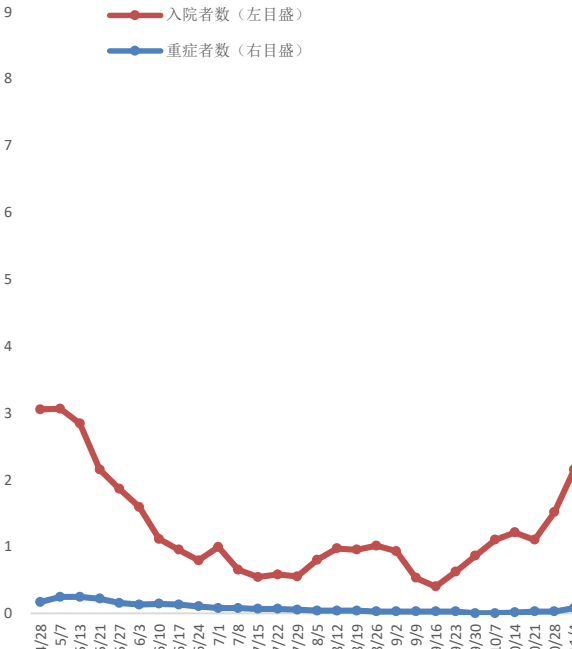
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



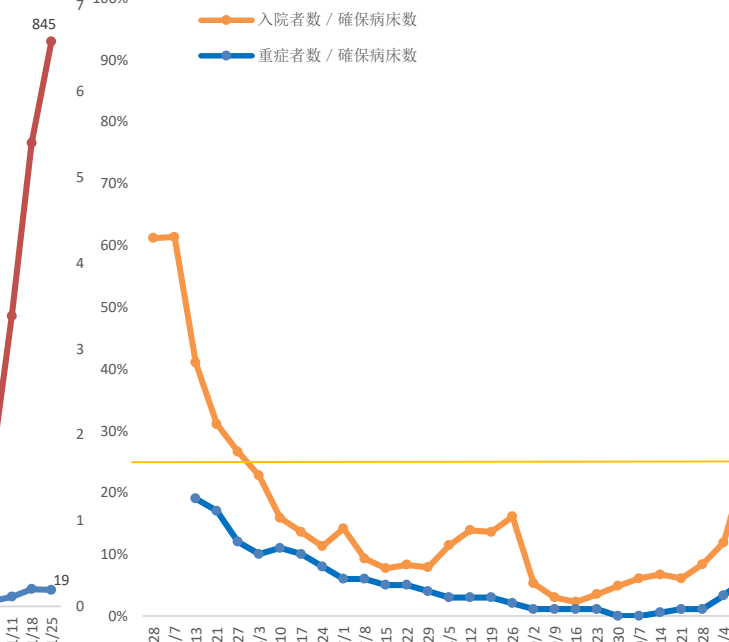
③検査状況



④入院者数／重症者数



⑤病床占有率



⑥療養者数

